

令和3年度 西砂学習館運営協議会（令和3年4月）会議録

日 時：令和3年4月18日（日）午後1時30分～4時00分

出 席：大槌 加藤 広瀬 進藤 浅見 小笠原 長谷川 岩元 森 増田

事務局：石川 俣本

欠 席：小林

1 開会のあいさつ

大槌：令和3年度第1回目の会議。3月21日に自治連西砂支部の会合に係長と二人で出席し、「西一元氣通信」配布の協力依頼と、防災講座に対する地域のご意見を今後聞けるとありがたいということを係長から説明して頂いた。

立川市がまん延防止等重点措置の対象区域となった。できるだけ感染者数を増やさないように配慮をし、諸々実施することになる。会議等の縛りもきつくなるかもしれない。その中で少しでも地運協の活動が続けられればと思う。一年間よろしくお願い致します。

2 令和3年度西砂学習館職員体制について

石川：清水が幸学習館へ異動になった。清水の後任は当面は不補充で市民交流大学係に3月末までいた臨時職員の田口さんがくる。今回の人事異動は来年度末を念頭に置いて決めたとのこと。

進藤：前回報告した通り4月1日より富士見地域包括センターへ異動。後任は浅見。4年半地運協に関わり地域のつながりがとても増えた。

浅見：第6地区地域福祉コーディネーターの浅見です。1から経験を積んでいくところ。委員の皆様と一緒に歩んでいきたいと思う。

3 令和3年度地域活性化講座について

(1)「西砂サマーイベント～火曜日は学習館に行こう！」について

・開催日程等の検討

⇒ 予算 講師謝礼 12,000円×3人

パンづくり 20,000円

食材費 12,000円

西砂図書館（無償）テーマ「飛び出す絵手紙を作ろう！」

◇ 学校の予定

	西砂小学校	松中小学校	オリ・パラ
休み	7/21(水)～8/26	7/31(土)～8/31	オリンピック開会式

	(月)	(火)	(7/23)
7/27	夏季水泳指導 ①	登校日	
8/24	算数教室 ① ②		パラリンピック開会式
8/31	登校日		

※ 予算の都合により、開催は5回まで! (閉会式 9/5)

*7/27 (開催??)

*8/ 3

*8/10

*8/17

*8/24 (開催?)

*8/31 (開催??)

石川：次第参照。夏休みの期間にずれが生じている。8月3日、8月10日、8月17日は確実に実施ができるが、登校日やパラリンピック開会式の日、講師をどうするか。

大橋：まず予算について、実際にサマーイベントとして使えるのはいくらか。

石川：記載通りで、パンづくりをやらなかった場合、20,000円は使うことができる。

大橋：食材費12,000円について確認したい。

石川：一昨年は小林委員に食材費込みで調理講師として12,000円をお支払いした。他館で広めることを考えると、この現状を他館に引き継ぐことができないので、講座の中で使う食材が消耗品で支払いが可能なので、予算立てをした。今年のサマーイベントで昼食の提供が可能であれば予算が使える。

大橋：サマーイベントを広げるためには会計処理を公明正大でいたい。今後食材費は消耗品費で購入できるとのこと。実施日について。7月27日は西砂小が水泳指導日、松中小は学期中なので実施しない。8月3日、8月10日、8月17日は実施する。8月31日は、西砂小は学期中で松中小は夏休みなので、松中小の子どもは参加できる。8月24日は、西砂小は算数教室①②で松中小は夏休み中で、パラリンピックの開会式が行われる。

小笠原：パラリンピックの開会式の時間は午後8時となっている。

大橋：8月24日、8月31日は、一校は参加可能で実施できる。去年は4回実施した。

広瀬：算数教室は全員がでるのか。

大橋：分からない。実際に居場所づくりとするなら回数を減らす必要はない。

広瀬：3回は少ないと感じるので、4回か5回は実施したい。

大橋：8月3日、8月10日、8月17日、8月24日、8月31日で5回実施決定とする。内容

について、西砂図書館の「飛び出せ絵手紙を作ろう」は決定。前回の会議で楽しくやれるような内容があっても良いという話がでた。このイベントを立ち上げた時、夏休みの自由研究のお手伝いができるの良いねというところで始まった部分もある。松中団地在住の方でどろり工作をする方がいると聞いた。

加藤：たまがわ・みらいパークでそのような講座をやっているとのこと。

大橋：他にやってみたら良い講座の案は。去年午後のプログラムで児童館に工作をお願いしたが今年はどうか。

小笠原：サマー学童保育所が2つ立ち上がり、柴崎に人を出すことになった為に人出が足りない状況。8月10日は休館日なので、実施可能。他は職員の体制次第になる。

大橋：無料でやってくれることを考えていかななくてはならない。動物の折り紙をボランティアで教えてくれる方はいないか。

岩元：岩間さんにお声がけはしているか。

大橋：まだしていない。午後の時間帯3〜4時間のお勉強は難しいので1時間30分位のプログラムで何かあると良い。

石川：パン作りの20,000円が使えることになるので、謝礼金はある。優秀なお子さんが多く宿題が早く終わる子どもが多い。8月3日は勉強一本にして、8月10日は児童館にお願いし、8月17日、8月24日、8月31日を8,000円の予算で検討したい。

(2)「地元を学ぼう！」

- ・9/12(日) 午後2時〜座学「立川は何故立川と言うのか」

- ・9/26(日) 午後2時〜座学「砂川の成り立ち」

- ・11/14(日) 午後2時〜散策(砂川の東側界限で調整中)

石川：豊泉喜一さんをお願いして実施する。ご厚意により3回講座を少ない謝礼金でお願いすることができた。講師の一番の願いは、若い世代に自分が知っている情報を絶えないうように引き継いでいきたいとのこと。

大橋：講師のご厚意で3回実施することになった。2つが座学、1つが散策。来年も3講座出来ると良い。

森：それぞれの日を申し込みするのか。定員が3回目だけ5名少ない。

石川：各講座完結しているので、申し込みはそれぞれでも良い。3回目の歩く講座は大きい集団になると、信号で先頭から最後尾までかなり離れてしまうことを考え定員25名が適切かと思ったが、分かりやすく30名に変更する。

(3) その他

石川：毎年どこかの学習館が幹事になり2月に交流会を開いている。前回の幹事は砂川学習館で交流会が開かれ各地運協の得意としているところを発表した。今年度の幹事は

西砂学習館。開催日時は高松学習館係長の石井の提案で職員の時間外削減の為、土曜日午後の開催になった。2月5日、2月19日、2月26日辺りで決めたい。

小笠原：2月5日は子ども委員会の発表会、2月26日は松中学童保育所の入所説明会。

大槁：開催日は2月19日で決定。内容はこれから相談していく。

広瀬：西砂学習館が幹事とのことだが、委員全員でお手伝いをするのか、ただ参加すれば良いのか。

石川：私もまだ1回しか参加していないので分からないところもあるが、絶対的なスタイルはないので、西砂ならではのやり方で進められたらと思う。サマーイベントや学社一体をテーマにしても良いのかなと思っている。

大槁：以前、幹事が幸学習館でやった時は、審議の時間が欲しかった。参加した学習館のものにするためにも提案内容について話し合いができると良い。どこの学習館でも取り組めるサマーイベントのマニュアルを作り提案したいと思っている。子どもの居場所、食の支援等を全市的に取り組めるムーブメントにしなければと思う。発信してこれなら自館でもできるかもと言う館を一つでも増やしたい。会計の問題もクリアにしたいと思っていた。出来る限り第1はサマーイベント、第2が学社一体で提案してお話が出来ればと思う。

広瀬：この交流会は幹事館なので、委員全員でやろうと言ったほうが良い。

加藤：テーマはどうか。基本的に独自に考えて提案をして良いと思う。

大槁：他館で大学生が地運協の講座の関わっているのは単位の問題だが、単位ではなく、この地域の学生が学習館にボランティアで手伝ってくれることを望んでいる。その為にどう発信したら来てくれるか考えている。それを幸学習館での交流会で聞いたかったが聞く時間がなかった。倉持先生に聞くと、学生に交通費も出ない中で行ってくれとはお願いできないとのこと。なので、実費弁償を出せる体制になれば、学芸大に主旨を説明しに行く。

岩元：交流会について幹事館が何をするのか、ここで企画から考えるのか、そこを明確して頂ければそれに応じて検討ができる。幹事館に対して少なくともこれだけはやると言うのは示されて当然ではと思う。こっちとしてもどうして良いかわからない。

加藤：サマーイベント、地域学校コーディネーターとの顔合わせは、西砂の地運協は先行して実施しているところだが、幸学習館に続き、高松学習館もやろうかという流れなり、各館に伝わり始めている。

広瀬：サマーイベントの食材費について。実情を皆に知っておいてほしい。行政として食材費は出せないとしていて、小林委員の好意で食材費を謝礼に含めて実施していた。今回食材費が予算立て出来て良かった。

大槁：活動を広めていくために、お金はクリアでないといけない。

岩元：人材について。小林委員のようにどんな食材でも調理できる方がいてくださったので、献立ができた。お金の面だけではなく、人材についても1つのネックと感じる。

大橋：ここは人材には恵まれている。

小笠原：主旨は子どもの居場所づくり。食の支援については、極端な話ではあるが、おにぎりでも良いと思っている。居場所、食、学習支援の3本柱をマニュアルにすればと思う。

岩元：各地域で出来ることをやれば良いということですね。

大橋：交流会についてはセンターに相談して頂き情報の提供を待つ。

4 協議、報告及び連絡事項

(1) 前回の議事内容の確認（議事録）

大橋：何かあれば事務局へ。

(2) 地域学校コーディネーターとの連携について【前回からの繰越】

- ・地域学校コーディネーターの活動内容について

- ・次回の顔合わせ会の日程について

⇒ 伺ったところでは3月末までの任期の方がいる

⇒ 4月に新メンバーで調整し、5月・6月には開催したい

石川：担当がいくらか変わっている。月曜日に生涯学習課系の梅沢にメンバーについて確認する。6月には顔合わせを開催する予定。何かあればメールで皆様にはご連絡する。

大橋：必要な資料には目を通して頂き、委員の皆が知識としてあれば、会合のときに皆が共通した認識として話が進むかと思う。

(3) 「西一元氣通信～西砂学習館便り～」を配布しました

- ・次号発行に向けてのスケジュール

例示 学習館まつりを掲載したい、よって、6月の運協で検討が必要⇒7/1発行?←6/25印刷?←6/23最終校正?←6/3 学習館まつりの初校?

* 学習館まつり以外の初校締め切りは・・・→ 5/14(金) **早めに取り掛かる**

- ・紙面構成（A3 二つ折りなので、4面）

例示 1面：写真とメニュー、2面：学習館まつり、3面：サマーイベント、4面：西砂地区の地域情報・運協の情報

- ・今後の発行スケジュール

石川：「西一元氣通信」紙面の予定案及び担当者割参照。6月号は1か月遅れの7月頭を検討している。フリースペースの紹介をしたい。情報を頂ければこちらで作成する。3面はサマーイベント、4面は地域や地運協の情報を載せたいと考えている。

広瀬：待望の通信。沢山の方からおめでとうと言ってもらっても良い。色々な団体にしお褒めの言葉を載せたい。

岩元：いつ建ってどのような役割を担ったか、館の歴史がわかると面白い。

石川：当初、保育室の場所に西部連絡所がり、裏の空き地は農協があった。ここは何もなかったがその後、立川市で最初の地域センターとして、西砂公民館、西砂図書館、西砂学童ができた。図書館利用者から子どもの声がうるさいと苦情があり、学童が現在の場所に移り、西砂学習館には子育てひろばができた。

小笠原：紙面割について。フリースペースを載せるなら4面にし、歴史を1面にした方が良い。興味が全般にわたると思う。

加藤：ここは碑があるので昔の分校。広瀬さんの提案も岩元さんの提案も良い。

大橋：それぞれの団体が地運協に対して、期待していることや、望むことを書いて貰っても良い。

広瀬：短くて良い。

石川：コラムにして、毎回どこかの団体や、校長先生にお願いして、4面の半分を使っただうか。

広瀬：広く浅く通信を知ってもらい狙いにすると良い。自分の自治会には創刊号が未だに回ってこない。

岩元：文化会の役員会で通信の創刊号をお渡ししたら、見たことないとの感想だった。

加藤：西一ってどういう意味なのかと質問された。

大橋：通信を知ってもらい意味で、各団体に一言でも書いて貰い発行を知ってもらおう。この館の歩みを取り上げていても良い。

広瀬：老人会は配ったか。

岩元：自治会に配れば老人会の会員にはいくのではないか。

石川：老人会には配っていない。フリースペースは安定した稼働になっていないので、1面は学習館の歩み、4面はいくつかの団体にコメントを頂く。

広瀬：広く浅く知ってもらいたいので、沢山の団体に貰っても良い。

石川：偉い方との面識がなく依頼するのが難しいので、委員の協力が必要。

広瀬：名前が分かれば、石川係長の名前で文書を出せば良いと思う。

岩元：西砂川支部の支部長1名、自治会長12名、各団体、青少健、体育会、3校の校長先生等。通信は運営協議会が何をやっているかを発信したくて発刊する。

大橋：西砂会館の便りは何を載せているか。

岩元：事業報告や所属団体の紹介等。

大橋：自分たちの活動を知って欲しくて発刊している。

森：コラムにして毎回紙面を使うのが良いかと思う。おめでとうよりは、地運協に臨むこと期待することを少し含めた文章をお願いしたらどうかと思う。自治会長も地運協は知らない方が多いと思う。お願いすることで地運協のことを調べて頂き、知るきっかけになると思う。一度にたくさん載せると言うよりは、毎回2〜3団体を載せてはどうか。知ろうとして貰うことも大事かなと思う。知ることによって興味を持ってもらえる。地

運協の資料をお渡しして、書いて頂くページを作ったらどうかと思う。

加藤：同じ考え。コラム的に順番に載せる。これは通信なので、意見を書いて貰ったりして繋がりを作っても良い。

岩元：生涯審の一番メインは学社一体の浸透だが、浸透しない。先生も認識していないのが現状。通信を出すことについては、こちら側の情報発信に主力を置いて、生涯学習の拠点としての学習館の目指す物をこちらから発信することが大事。地域情報を載せるのはまちネットが良い。地域情報誌ではないですよ、生涯学習を目指すということを発信するのが良いかなと思う。

小笠原：児童館は便りを出している。内容はやっていることの情報紙。完全な発信。

石川：取りまとめの提案。1面に歴史、裏面を4分割して、自治会は自治連会長に、残り3つは3校校長先生に学習館に臨むことを書いて貰うのはどうか。

森：毎月会議をしている。中心の議題がある。その内容を少しずつでも伝えるコーナーはどうか。

石川：議会だよりのイメージになる。

岩元：もともと通信をだす目的が、ここで行っていることのPR。

大橋：サマーイベントもなぜこれを行うかを伝えることが大切。

石川：2面は館の関係記事。3面はサマーイベント。このような理由だから協力してくださいと、地運協での話した内容、実施の協力を合わせて、地域の皆さんも協力して下さい。地域の方と言うと、自治会、3校に書いて貰いたい。裏面は自治連会長、3校のコメントは後ろ側に載せると皆読んで貰えるのではと思う。

大橋：次回プロットを出してもらい審議する。

増田：初回で出した配布先がある。地運協、子どもにウエイトを置いている活動。一番の目的のところに子どもにシフトしたところ力点を置いたところに広めて深めていく。読み直して行くとクリアになる。

広瀬：地運協は子どもにシフトしているわけではない。バランス良く。

増田：自分が持っているものを次に与える、伝承する、伝えることが積み重なり、子どもに繋がる。発想が大事。与えることが大事。

広瀬：与えることは子どもだけではなく、高齢者も子育て中の母親も入る。

岩元：このように話し合うこと自体が大事なことです。私たち高齢者も若い者達から学ばなければならない。循環していけたら良い。

森：このようなことを載せたら良い。

・紙面構成

(4)「西砂学習館まつり」参加について

- ・展示場所は、2階第2実習室。フラワーサークル桜と同部屋

- 金曜日が部屋の受付当番
- 展示物について

石川：第2実習室が部屋として使えることになった。それに伴い、フラワーサークル桜が会議室から第2実習室に移動。地運協の展示場所が1階ロビーから第2実習室に移動し、来た人にアンケートを取れるようになった。また、人が常時いてお話できるチャンスができた。

大槁：会議に2回参加。地運協が学習館まつりに参加する意味、意義を考えていた。前回は会議に参加せず、ロビーに掲示物を展示した。今年度は第2実習室になると言われた。人の出入りがある程度制限された中で過ごす。目的を持ってくる感じになる。それを考えると何を展示したら良いか案を作ってみた。180 cm×120 cmのパネルが3枚。講座後のアンケートは取ったがニーズの確認をするアンケートをとったことが無かったので、今回アンケートを作った。靴の履き方の資料を50部位印刷して配布しても良い。1人でも多くの人に見て貰いたい。

広瀬：アンケート用紙への追加で「講座」だけでなく「イベント」も入れたい。「講師について」は、1つ下の段でも良いのでは。

岩元：どんな工夫のところには、「曜日」、「時間帯」を入れても良い。参加対象者は。

大槁：参加対象者はカット。住まい、名前は広くとる。パネルの作成は可能なら1人で行いたい。委員の写真掲載については次の機会を確認。

(5) フリースペースについて (報告)

小笠原：まだ実施できていない。

(6) 各委員から報告及び連絡事項 (報告)

加藤：推進委員会では、西砂学習館を会場に「犬との楽しい暮し方」を行う。実施の有無について、他に聞くと、中止になったという声は余り聞いていない。総会は再来週実施だが来賓は無し。

広瀬：この地域にはリサイクルセンターが近くにある。容器包装を見直そうという講座を企画し、リサイクルセンターに見学へ行ったところ施設が面白かった。この学習館の財産としてリサイクルセンターを活かした講座を考えたい。

進藤：一番町北住宅にここサロン会議があった。まちネット2面に大きめにPRする。

浅見：ここサロン利用時の最低限のルールや取り決め、大枠づくりを行った。次回の会議では皆に知ってもらう為のイベントスケジュールを立てることになった。まちネットでお知らせをする。北住宅にはチラシを入れて丁寧にPRする。まん延防止等重点措置が過ぎた頃に開放してフリーの日を作れたらと話している。

長谷川：総会の案内を本日印刷したので明日発送する。懇親会は無し。場合により書面評決になる。来月になると麦撒きの話ができるかと思う。

小笠原：4月になり小学1年生が入ってきた。学童は70名、ランドセル来館は60名の登録で毎日約40名位が来る。自由来館は30名位が来る。それだけの子ども達にとって児童館が居場所になっているのだろうと思いつつ、日々事故を起こさないように運営している。緊急事態宣言が開け、イベント開催のオッケーがでた。5月5日「にしチルフェス～にしすなチルドレンフェスティバル いつだって、わすれない～」を実施する。被災地支援、コロナ禍で戦っている医療従事者への支援のために、参加費は日本赤十字社を通じて寄付をする。「フリースペース・にしすなSP」や「にしすなトリアスロン」等を企画。感染状況によって入館制限も考えている。

岩元：西砂文化会の総会は書面評決に決まり各関係団体へ書類を発送。行事もなかなか行えない。文化会便りは2回発行できなかったのも、今年は発行したい。学習館まつりではコーラス槐が発表会で参加。少しでも日本の童謡を聞いて心を和ませて頂けたらと先生からお話があり、発表会に出演する。最後に「花は咲く」を唄う。

森：西砂パソコン倶楽部ではスキルアップ講座への参加者が増えている。先日はチラシ作りを試みた。地域でサークル、自治会で頼まれてお知らせ文を作ったりしている方もいる。

増田：25日アイムで学習会を開催。市民と行政が一緒になって考えられるような取り組みを考える。

石川：立川市が「まん延防止等重点措置」の対象区域となった。学習館としては20時以降の施設利用自粛に協力をお願いをしているところ。学習館まつりについて、このような中でもやるぞ！とお知らせはしている。変異株が増えて制限が増えるかもしれないが、2年続けてやらないと忘れられてしまうのではと思い出来る限り実施したい。

(7) その他

5 その他

○ 次回の地域学習館運営協議会の日程について

※ 次回開催；次回は、5月13日（木）

5/16(日)、4/23(日)の午後、会議室を押さえています。

夜間の開催の場合、必ず午後8時に終了。

<配布資料>

- ・〈資料1〉令和3年度 西砂学習館事業予定
- ・〈資料2〉西砂学習館運営協議会 令和3年度地域活性化講座（案）
- ・「西一元氣通信」紙面の予定案及び担当者割
- ・第41回西砂学習館まつりチラシ
- ・たち 6/10号の原稿
- ・令和31年度 地域学校コーディネーターの実際の活動内容（抜粋版）【再】

- ・令和３年度 地域学校コーディネーターの実際の活動内容（全体版）【再】
- ・朝日新聞 2021. 3. 1(月)切り抜き記事（会長提供）【再】
- ・令和２年度版 冊子「立川の教育」（会長提供）【再】
- ・「第４１回西砂学習館まつり」のパネル案
- ・「第４１回西砂学習館まつり」のアンケート案